

支 出 書

会 派 名	市 民 連 合	整理No. 2 - 1
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	232,620 円	
支出年月日	2022年 10月 11日	
支出内容	10月13日～15日 長崎県長崎市「第84回全国都市問題会議」 への出張旅費	
支 出 先	別添、領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

領収書添付用紙

支出書整理No. 2 - 1

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

領 収 書

(会派名) 市民連合

2022年10月11日

(代表者) 池上文夫 様

¥77,540

10月12日～14日、長崎市への出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交通費	41740円	長崎市
日当	6,200円	2日
宿泊料	29,600円	2泊
()	77,540円	

(会派名) 市民連合

(名 前) 池上文夫



領 収 書

2022年10月11日

(会派名) 市民連合
(代表者) 池上文夫 様

¥77,540

10月12日～14日、長崎市への出張旅費

[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交通費	41740円	長崎市
日当	6,200円	2日
宿泊料	29,600円	2泊
()	77,540円	

(会派名) 市民連合
(名 前) 小山友康



領 収 書

2022年10月11日

(会派名) 市民連合
(代表者) 池上文夫 様

¥77,540

10月12日～14日、長崎市への出張旅費



[内 訳] 上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交通費	41740円	長崎市
日当	6,200円	2日
宿泊料	29,600円	2泊
()	77,540円	

(会派名) 市民連合
(名 前) 西本章



研究研修・調査報告書

会 派 名	市 民 連 合	報 告 日	2022年11月12日
代 表 者	池 上 文 夫 	報 告 者	小 山 友 康 
参 加 者	池上文夫 西本 章 小山友康		
実 施 日	2022年10月13日(木)～14日(金)		
研究研修・調査等の場所	長崎県長崎市 会場：出島メッセ長崎		
目 的	第84回全国都市問題会議		
研究研修・調査等の概要			
日 時 2022年10月13日(木) 9:30~17:00			
14日(金) 9:30~12:00			
『個性を活かして「選ばれる」まちづくり～何度も訪れたい場所になるために～』			
をテーマに第84回全国都市問題会議が13日・14日の二日間、長崎市で開催されました。			
基調講演では、通販大手ジャパネットホールディングスの高田旭人さんが「民間主導の地域創生の重要性」と題して、ジャパネットが長崎市幸町で手がける民間主導の地域創生事業「長崎スタジアムシティプロジェクト」の概要などを紹介されました。			
次に、主報告では地元長崎市長の田上富久さんが「長崎市の魅力あるまちづくり」と題して講演され、長崎市の交流の歴史から学びつつ、近年の時代の目まぐるしい変化に直面していることや、その変化に対応することが求められており、長崎市の「価値」を見つけ、磨き、新たな価値を生み出ることが報告され、その一例として「長崎スタジアムシティプロジェクト」がこれまで長崎になかった新たな魅力を			

生み出す事業（人口増加・雇用創出など）で課題解決につながるとして、市としてもプロジェクトチームをつくり、官民一体となって取組を進めていることも報告された。

午後からは三本の一般報告があり、まず「地域との新しい関わり方・関係人口」と題して、島根県立大学地域政策学部准教授の田中輝美さんより「関係人口」という言葉について、2016年頃に生まれた言葉とされている「観光以上、定住未満」として、地域に多様に関わる外部者であり、特定の地域に継続的に関心を持ち、関与するよそ者」と定義づけていること。野球チームにたとえると、自分たちのチームの課題と戦力を踏まえどんな補強が必要かをイメージし、力を合わせてチーム作りしようとする姿勢が求められる。「選ばれる」まちをめざした時の第1歩はこの意識統一が重要とまとめられた。

二本めの報告は、山形県山形市長 佐藤孝弘さんから「ビジョンを活かしたまちづくり～選ばれる山形市をめざして～」と題して、「健康医療先進都市」「文化創造都市」の2つのビジョンを掲げ施策展開を行っている。人口一人当たりの診療所数が最も多く、山形大学医学部では2021年2月東北では初となる次世代型重粒子線がん治療が開始されるなど最先端の医療を提供している。これら医療と健康における強みを活かし長期ビジョンとして掲げている。また、文化創造都市として、山形ドキュメンタリー映画祭が30年以上前続いている。これは市民による手作りとして誕生し、いまや世界に確固たる地位を築き、国内・世界中から多くの映画ファンが集まってくる。これらの価値を広く市民と共有するために「山形市文化創造都市推進条例」を制定している。引き続き2大ビジョンに基づき、都市ブランド力の向上と持続可能なまちづくりをめざしていくと報告された。

三本めは、一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事の高尾忠志さん現在は、長崎市景観専門監として具体的な取組みを推進している。「交流の産業化を支える景観づくり」のテーマで長崎市のまちづくり戦略をすすめている。現代において自治体が迎えている課題は、縦割りの組織体制による分野ごとの施策実施では到底太刀打ちできない。まちづくりを行うのは人であり、特に自治体職員はそのハブを担う重要な存在である。職員育成という「人的資本」と人のつながりという「社会関係資本」に投資する自治体戦略としても「景観専門監」は非常に意義深い仕組みである。各自治体でも質の高い景観まちづくりが実現することを願っている。

2日めは、「“選ばれる”まちづくりに向けた都市自治体のアプローチ」というテ

一マで、東京都立大学法学部 大杉寛教授が問題提起を行い、コーディネーターを努め、5人のパネラーから実践例の報告を受け、パネルディスカッション形式による意見交換が行われた。特に、長崎市のNPO法人長崎コンプラドール理事長の桐野耕一さんの提案の「人は人に会いに行く！～まち歩きで見つけた“まちのつくり方”」という報告では、まちの良さを伝えるには、自分が誰よりもそのまちを愛すること。まちを愛する人が伝えるからこそ、訪れる人が自分のまちや思い出に重ねて共感し、自己肯定が生まれ、自分のまちや家族そして自分自身が大好きであることの再確認につながる。そんな想いに誘ってくるまちに何度も訪れたいくなる。とまとめられた。

2日間の研修で、長崎市の景観専門監の取組に共感しました。役職名の「景観」だけでなく、個々の公共事業によって長崎のまちにどんな価値を創造させるか。道路や公園の改修、案内サインの設置、街路灯の更新等どんな小さな事業でも、それぞれが長崎市民の生活の質を向上させ、まちへの愛情や誇りを育てるきっかけにならないか。長崎市を訪れる人たちが、長崎に来てよかったと思ってもらえる体験の創出に貢献できないか。と担当職員と一緒に検討する。と言われ、それを実践されている。「マズローの欲求5段階」の説明もあり、より多様な人々にとってよいものとなるための工夫と配慮を積み重ねていくことが求められている。と結ばれた。

支 出 書

会 派 名	市 民 連 合	整理No. 2 - 2
科 目 (該当○印)	1 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	30,000 円	
支出年月日	2022年 10月 11日	
支出内容	10月13日～15日 長崎県長崎市「第84回全国都市問題会議」 への参加費	
支 出 先	別添、領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	<input checked="" type="checkbox"/> (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 印

別紙

領収書添付用紙

支出書整理No. 2 - 2

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

No.0345

会議参加費 領収書

池田文夫 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和4年10月13日

第84回全国都市問題会議実行委員会
会長 田上富久

No.0419

会議参加費 領収書

西本 章 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和4年10月13日

第84回全国都市問題会議実行委員会
会長 田上富久

No.0420

会議参加費 領収書

小川友康 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和4年10月13日

第84回全国都市問題会議実行委員会
会長 田上富久